

明日も来なくなる学校
やってみようを形に

人穴小学校教育目標
自らをきたえ 共に生きる子
重点目標
＜ 自ら学ぶ・自ら関わる・共に育む ＞

人穴小学校経営目標
主体的に関わり合う力を育み 共に伸びゆく学校づくり

Plan (計画)

＜義務教育9年間で身に付ける資質・能力＞
①主体性 ②対話力 ③協働性 ④自己調整力 ⑤自己指導力 ⑥創造性 ⑦情報活用力

＜6年間で身に付ける資質・能力＞
①進んで行動する力 ②わかりやすく伝える力 ③協働する力
④学びを振り返る力 ⑤自分で考え挑戦する力
⑥新しいことを生み出す力 ⑦情報を選び、活用する力
※教育活動ごとに具体的な姿を考え、子どもと共有して伴奏者として支援してゆく

Do (実行)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【自ら学ぶ】
□こどもの実態に合った単元構想と深い学びを実現する授業や支援
□こども自身が先を見通し活躍する授業(ラーニングマウンテンの活用・ゴールの共有)
□意欲と定着、学びをつなぐ家庭学習(授業に生かす、読書、ICT活用)
□学びを実感する個別最適な学びと振り返り(形成的評価、学習形態の工夫)
□情報活用能力の育成とICTの効果的な活用(デジタルとリアル、学校図書館の活用)
□子どもたちがリーダー学習での学び方を身につけ、主体的に学習を進める授業

【自ら関わる】
□既習事項との関連、教科横断的な学びを実現する単元構想の工夫
□他との関わりを重視する授業の実践(リーダー学習、多学年交流、地域資源・人材活用)
□小規模校ならではの協働的な学びの実践(行事、合同授業、全校話合い)
□豊かな言語能力(話す力・聴く力)の育成と場の設定(話す・聴くポイント)
□質の高い読書の定着(物語の推奨)(人穴おすめ30冊、ピリオパトル、学校司書連携)

【共に育む】
□協働性を育む行事や学習方法の工夫(こどもが活躍・体験する場)
□適切な見取りと評価方法の工夫(個が設定する課題や目標、学びをつなぐ振り返り)
□気持ちのよい挨拶やきれいな言葉(さん付け、適切な言葉遣い)
□よりよい未来に向かう心の育成(考え議論する道徳、SDGs、LGBTQ)
□自主的な健康管理と危機管理(命の授業、定期的な保健指導、こどもが行う危機管理研修)
□思いを形にして自己肯定感を高める(こどもの思いを実現する場の工夫)

「デジタルとリアル」それぞれのよさを生かす

【他校と】
□中学校区4校連携(学びをつなぐ・心をつなぐ・命をつなぐ)
・卒業生1日先生の日
・合同学校保健委員会
・小学校合同行事・合同授業
□北部6校小規模校連携
・富士山学習発表会
・フレンドシップデー
□松崎町

□他校との積極的な交流(小規模校・大規模校・他地域等)

【校内で】
《特別活動を中心に》
□縦割り活動
・遠足・集会・全校話合い活動・朝運動
・運動会・ひとあな教室(全校宿泊教室)
・栽培活動

ウェルビーイング

関わり合い

小規模特認校

【家庭と】
□家庭生活
・基本的な生活習慣
※正しい食生活の習慣化
※メディア利用の約束
・メディアコントロールデー
□PTA全体会
・全保護者との共通理解
・青少年健全育成会
□家庭学習
・毎日の学習・読書の習慣化
・授業に生きる家庭学習
・1人1台PCの有効活用
・学び方の振り返り
・図書館開放(月2回)

□授業参観
・保護者、家族・地域
・小規模特認校

【地域と(核としての役割)】
□合同行事
・運動会・つどい
・防災訓練・廃品回収
□地域組織連携
・地区体協・消防団
□情報発信
・学校だより・HP
・インスタグラム(小規模特認校)
□協力的行事
・敬老会・ふれあい訪問
□地域人材活用(人穴小応援団募集)
・お話の泉
・花いっぱい笑顔いっぱい活動
・総合、生活科等講師
・クラブ活動
・ひとあな教室(全校宿泊教室)
・ひとあなルームの活用
・学校運営協議会の開催

Check (評価)

Action (改善)

【評価方法】
・学力学習状況調査、定着度調査等の分析
・学校評価(児・保・教)の分析
・自己目標シート(教)の確認
・校内研修(教)での価値付け
・行事後の振り返り(児・教)
・資質・能力の振り返り(児)
・教育課程編成会議(教)での価値付け
・PTA全体会(保)での意見収集
・学校運営協議会(地域)での意見収集

【学校評価重点項目】
・目指すこどもの姿 A評価
1-1 学校が楽しい 100%
・身につける資質・能力
①自分で判断して行動する 60%
②相手意識を持ち分りやすく表現する 80%
③友達と相談しながら学ぶ 70%
③他者のよさを見付け、認め合える 80%
④自分を振り返り、目標に向かって実行確認する 80%
⑤自分の考えを持つ 60%
⑤健康安全な生活習慣を身に付ける 80%
⑥今までの学習を生かし、様々な視点で考える 65%
⑦他者や経験から進んで学ぶ 65%

【改善の視点】
・こどもの学びのつながり
・主体的な関わり合い
・適切な評価(方法と場面 形成的評価・振り返り)

【改善方法】
□評価結果の共有
・職員会議・PTA全体会・学校運営協議会
□目標・手立ての再考・修正
・企画委員会・職員会議・PTA全体会
□手立ての修正・方向性の共有
□行事の反省を生かした次年度案の作成
□次年度の課題把握と手立ての立案